

平成31年(令和元年)度第3四半期における公益法人等への会費支出の状況

	交付先法人名称	名目・趣旨	交付額 (単位:円)	支出先法人が定める会費 一口当たりの金額、もしくは 最低限の金額 (単位:円)	交付日等 (支出決定日)	支出の理由等	公益法人の場合	
							公益法人の区分	国所管、都道府 県所管の区分
1	公益社団法人 日本工学教育協会	団体学校団 体会員	490,000	一口70,000	10月21,25日 11月 7,21,22,25,28日	研究及び工学教育に係る最新動向の調査 及び意見交換を行うため。また、企業との繋 がりや連携が密にとれ、教育や人材育成に ついての企業の考えやニーズを知ることが でき、学生の就職に関して、企業の良質な 就職・採用情報が入手できるため。協会とし て学校を単位とした加入をルールとしている ため、法人として複数口の支出を行っている。 る。	公社	国所管
		北海道地区 工学教育協 会団体会員 会費	10,000	一口10,000	10月25日			
		東北地区工 学教育協会 団体会員会 費	90,000	一口30,000	11月21,22,28日			
2	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	賛助会員会 費	209,530	一口102,860 (増税後)104,765	10月1日 12月10日	会員となることにより、一般財団法人国際ビ ジネスコミュニケーション協会が実施する資 格試験の受験料が値引きとなり、非会員価 格で受験する際に支払う総額よりも、受験料 と会費の総額のほうが安価であり、経済的 利益が確保できるため。協会として学校を単 位とした加入をルールとしているため、法人 として複数口の支出を行っている。	-	-
合計			799,530					

※公益法人の区分欄の「特社」は特例社団法人を、「公社」は公益社団法人を、「公財」は公益財団法人をそれぞれ表す。